

## オビドス (Óbidos)

について



写真: Francisco de Almeida Dias

### オビドス (Óbidos)

**オビドスの中世の街は、ポルトガルで最も美しく保存状態も良好です。**

首都に非常に近く、大西洋岸に近い高地にあるため、オビドスはこの地方においても戦略的に重要な土地です。イベリア半島にローマ人が到着する前にすでに住民が存在していたこの街は、王族に選ばれた後繁栄しました。13世紀、デニス王 (Dinis) は、妻であるイザベル女王 (Isabel) にこの街を与えました。その後、カーサ・ダス・ライニャス (Casa das Rainhas) (女王の地所) の一部となりました。女王はさまざまな王朝の時代、この街を改善し、豊かにしていきました。これは、この小さな場所に教会が非常に多いことの一つの主な理由の一つです。

壁の中には保存状態の良い城があります。通りと白い家々が迷路のようになっており、散策が楽しめます。マヌエル様式のポーチコ (柱廊式玄関) に沿ってカラフルな窓枠と小さな広場があり、この街の黄金時代の代表的な宗教建築と普通建築が立ち並ぶこの街は数多くの観光する人々をひきつけています。

サンタマリア大教会 (Igreja Matriz de Santa Maria)、ミゼリコルディア教会 (Igreja da Misericórdia)、サンペドロ教会 (Igreja de São Pedro)、さらし台、壁の向こうには送水路、円形の セニョーラ・ダ・ペドラ教会 (Santuário do Sr. Jesus da Pedra)。これらは必見のランドマークのごく一部です。オビドス市立美術館 (Museu Municipal de Óbidos) もその一つです。ここでは、多大な影響を与えた17世紀の画家であり、その時代に大胆な芸術的スタンスを取った女性、ジョセファ・ドビドス (Josefa de Óbidos) の作品を見ることができます。彼女の作品は、スペイン人のスルバラン (Zurbarán)、フランシスコ・デ・エレラ、ポルトガル人のアンドレ・レイノソ (André Reinoso)、彼女の父であるバルタザール・ゴメス・フィゲイラ (Baltazar Gomes Figueira) など、当時の偉大な画家たちの影響を受けています。

オビドスの観光は時を選びません。ロマンチックな、あるいは単純に穏やかな週末を過ごすにはお勧めの場所です。それはそこで育まれた愛の物語の故であり、その中世的な情景の故です。また、城内で宿泊する予定があれば完璧です。

この地の料理はオビドス湯の魚で作るブイヤベースが名物です。オエステ地方のワインがあればより美味しくいただけます。もう一つの楽しみは有名なオビドスのジンジャーナ (Ginginha de Óbidos) (さくらんぼのリキュール) で、さまざまな場所で楽しめます。小さなチョコレートカップで飲むのが好まれます。

一年を通して行われるイベントが、オビドスを小さいながらも非常に活気のある街にしています。最も有名なのは、国際チョコレートフェスティバル、中世市場、そしてクリスマスです。このとき、この街は季節の飾り物で一杯になります。また、ハーブシコードとバロックの音楽祭、そしてオペラフェスティバルも見逃せません。これらはオビドスに特別な感情を抱かせる、暖かな夏の夜の屋外コンサートです。

デルレイ・ビーチ (Praia d' El Rey) の長い砂浜も近くににあります。ここでは、大西洋を臨むゴルフコースでプレイを楽しむことができ

ます。その歴史がカーサ・ダス・ライニャスにつながっているカルダス・ダ・ライニャ (Caldas da Rainha) の向こうには、オドビス瀉を海とつなげているフォス・ド・アレーリョ (Foz do Arelho) のビーチがあります。ここは魚介類や新鮮な魚のランチ、または日没の海を見ながら遅い午後を過ごすにはうってつけの場所です。

#### 絶対のお勧め

- > 城壁を登る
- > ジンジャーニャ (ginginha) をチョコレートカップで飲む

#### お役立ち情報

観光局

電話 : 262 959 231

メール : [posto.turismo@cm-obidos.pt](mailto:posto.turismo@cm-obidos.pt)

街の玄関口にあります。夏は1時間のガイド付きツアーが1日に2回あります (ポルトガル語と英語)。

オビドスとこの地方に関する詳細は、次のウェブサイトをご覧ください。

[www.obidos.pt](http://www.obidos.pt)

<http://www.rt-oeste.pt>

#### 行き方

車を運転される場合は、オドビスの旧市街の外に駐車場があります。

リスボンからお越しの場合 (Lisboa):

車では、A8線をレイリア方面に約80km走り、15番出口で降ります。

サンタレンからお越しの場合 (Santarém):

高速道路A15線をお使いください。

ポルトからお越しの場合 (Porto):

A1線をレイリア方面に走り、ここからA15線に乗ります。

Rodoviária do Tejo がオドビスまでの定期バスを運行しています。時刻表とさまざまな乗り換え地点については、[www.rodotejo.pt](http://www.rodotejo.pt) をご覧ください。

オドビスには鉄道の駅があります。しかし、城壁の外にあるため、城の中腹まで10~15分登らなければなりません。またはタクシーを利用できます。時刻表は、[www.cp.pt](http://www.cp.pt) で地域内または地域間運行サービスの欄をご覧ください。